



寧楽美術館の印章

方寸にあふれる美

久米雅雄 監修
寧楽美術館 制作編集

◎日本における印章五大コレクションのうちの一つ、寧楽美術館所蔵の中国古印コレクションの中から、このたび整理の終わった二一九顆を原寸で紹介。
◎官印・私印を年代順に掲載する。
◎整理にあたっての断代(時代判定)手順など、くわしい解説も収録。

2017年10月刊行

▶B5判・188頁

定価: 本体 4,000円 (税別)

ISBN978-4-7842-1904-9

寧楽美術館

(ねいらくびじゅつかん)

奈良・東大寺ちかくに位置する日本庭園・依水園内に建つ。海運業を営んだ中村準策からはじまる中村家3代が蒐集した、中国・朝鮮・日本の古美術品を所蔵、展示。

図版目録

漢魏六朝官印分類表 中国王朝一覽

- 一 日本における中国古印の蒐集と印章五大コレクション
- 二 寧楽美術館所蔵古印との出遭い
- 三 印章の調査と研究の方法論
- 四 寧楽美術館所蔵古印の調査と研究

寧楽美術館古璽印選

—方寸の世界に歴史をよむ—
(大阪芸術大学客員教授・久米雅雄)

図版

戦国時代の古鈐
秦漢三国兩晋南北朝時代の印章

印章と寧楽コレクション

(学芸部長・山崎智子)

はじめに

■目次■

(館長・田代佳子)

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-533-6860 fax. 075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	寧楽美術館の印章	本体4,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1904-9	
お名前			tel	本書HPのQRコード	
ご住所	〒		e-mail		
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				



思文閣出版既刊図書案内

◎オンデマンド版は受注生産のため、ご注文から2週間ほどお時間いただきます◎

日中親族構造の比較研究

官文娜著 思文閣史学叢書
日中親族集団の構造を手がかりとして、日本が中国の親族文化、特に宗族制度を受容しなかった理由、またともに「アジア文化圏」に属する両国の、近代以降における西洋異文化との衝突の原因と融合の条件を探る。
▶A5判・430頁／本体7,200円(税別) ISBN4-7842-1241-8

漢簡の基礎的研究

大庭脩編
日中両国の研究者による漢簡の共同研究の成果。【内容】簡牘書檄的功能と特征／漢代太初曆考－漢簡に見られる『節氣』を手掛かりとして／日本における中国古印の研究【付：日本収蔵中国古印図録】／『居延漢簡補編』の出版／中国漢簡研究文献目録【1903～1995年】
▶B5判・220頁／本体13,000円(税別) ISBN4-7842-1000-8

中国五代国家論 [オンデマンド版]

山崎覚士著
第一部「天下のうち」篇では「平王」などの爵位や藩鎮制、国書の検討から「中国」一諸国間の支配関係を考察。第二部「天下のそと」篇では中国の権力構造に含み込まれつつも、海上に新たな国際秩序をつくらうとした呉越国に焦点をあてて論じる。五代十国時代における「国家」の構造を明らかにする意欲作。(初版2010年)
▶A5判・364頁／本体7,300円(税別) ISBN978-4-7842-7019-4

対外関係と文化交流 [オンデマンド版]

田中健夫著
中世日本の東アジアへの対応、足利義満の外交の特質、勘合制度の実態と性格、琉球王国の国際的位置、島津氏と琉球との関係、さらに近代に及ぶ対馬の藩政と朝鮮修好との関係など、中世から近世に至る日本の東アジアを中心とした対外関係と文化交流に光をあてる。史料として16世紀の対馬宗氏の二史料を収める。(2版1991年)
▶A5判・690頁／本体13,800円(税別) ISBN978-4-7842-7009-5

中国南北朝隋唐陶俑の研究

小林仁著
始皇帝の「兵馬俑」で知られる俑は、死者とともに埋葬される副葬明器で、中国の南北朝から隋唐時代は質量ともにその黄金期の一つである。本書は、豊富な実物調査に基づいて、膨大な数の資料を造形的特質、様式の変遷、地域性などによって整理し、豊富な図版とともに美術史・陶磁史的視点からさまざまな論点を提示。
▶B5判・438頁／本体13,000円(税別) ISBN978-4-7842-1790-8

※高句麗壁画古墳と東アジア

門田誠一著
高句麗の人々が営んだ古墳は独特の形状と内容を持ち、さまざまな視座からの研究が行われてきた。本書では壁画に描かれた図像や題材のなかで、もっとも重要な対象である墓主像に焦点をあて、文献や金石文と照らし合わせながら体系的に考察。
▶A5判・448頁／本体8,600円(税別) ISBN978-4-7842-1546-1

正倉院宝物と古代の技

木村法光著
正倉院宝物はどのような材料で製作されているのか。奈良時代の匠が用いた技術が優れていた理由は何なのか。
長年、正倉院事務所保存課に勤務し、正倉院宝物の調査・研究、保存・管理に携わってきた著者の研究成果を一書にまとめる。
▶A5判・522頁／本体15,000円(税別) ISBN978-4-7842-1809-7

古文化財の科学

山崎一雄著
古文化財の科学的研究の第一人者による45年余にわたる成果をまとめる。正倉院宝物の調査、装飾古墳・高松塚・法隆寺金堂壁画・栄山寺八角堂・醍醐寺五重の塔・源氏物語絵巻などの顔料分析、正倉院の陶器・ガラスや緑釉陶などの科学分析、および銅鏡・銅鐸・青銅器などの成分分析に関する諸報告を収録。
▶A5判・380頁／本体6,300円(税別) ISBN4-7842-0482-2

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。 ※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。